

各位

上場会社名	株式会社 ウィザス
代表者	代表取締役社長 堀川 一晃
(コード番号)	9696)
問合せ先責任者	常務取締役 井尻 芳晃
(TEL)	06-6264-4202)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,032	△400	△539	△402	△42.65
今回発表予想(B)	5,965	△404	△523	△509	△53.37
増減額(B-A)	△67	△4	16	△107	――
増減率(%)	△1.1	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	5,645	△197	△302	△657	△68.89

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,237	1,188	1,000	322	34.15
今回発表予想(B)	13,963	976	739	212	22.23
増減額(B-A)	△274	△212	△261	△110	――
増減率(%)	△1.9	△17.8	△26.0	△34.0	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	13,132	1,042	899	△122	△12.94

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,421	△267	△383	△278	△29.46
今回発表予想(B)	5,226	△358	△425	△408	△42.77
増減額(B-A)	△195	△91	△42	△130	――
増減率(%)	△3.6	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	5,114	△190	△304	△657	△68.84

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,422	1,084	916	279	29.56
今回発表予想(B)	12,197	850	694	214	22.43
増減額(B-A)	△225	△234	△222	△65	――
増減率(%)	△1.8	△21.5	△24.2	△23.0	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	11,730	873	693	△304	△32.08

修正の理由

- 第2四半期累計期間の業績予想修正について
当中間期は、消費マインドが急速に悪化したことに伴い売上高が予想以上に伸び悩みました。その状況を踏まえ経費削減に注力しましたが、営業収益の減少を補うまでには至らなかったことと、投資有価証券評価損85,374千円および減損損失25,046千円を特別損失として計上するため、連結・個別ともに前回の業績予想を下回る見通しです。
- 通期の業績予想修正について
通期につきましては、引き続き収益構造改革に努めるものの、売上高の減少に加えて、競争力強化のための設備・人員の増強等により利益面においても厳しい経営状況が続くと予想され、業績は連結・個別ともに前回予想を下回る見通しです。
- 収益構造について
当社グループの主要事業の売上高には季節の変動があり、毎月の授業料収入以外の季節講習会、教材および施設利用料収入等、入学・入会金等の収入が変動要因となっております。これらの収入は主に第3四半期以降に集中しています。このため、上期の売上高は下期に比べ相対的に低い水準となる一方、固定的な費用の負担により営業損益が圧迫される傾向にあります。

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上